

日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える

「動画でわかる 2025年度・技術士二次試験対策」に関する動画

■8項目のテーマ

1. 2025年度・技術士二次試験対策の概要
2. 記述式試験の特徴を考えた受験勉強をする
3. 「“解答を書く力”を鍛える」の概要
4. 「1分で理解できる解答」の概要
5. 「1分で理解できる解答」を書く力を鍛える
6. 文に変換する力を鍛える
7. 文の作成力を鍛える
8. 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える ←

1

- ◆ 解答の書き方に着目する:3項目の方針を考える
 - 記述式試験の特徴を考えた受験勉強をする
 - “解答を書く力”を鍛える
 - 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える ←

2

日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える理由

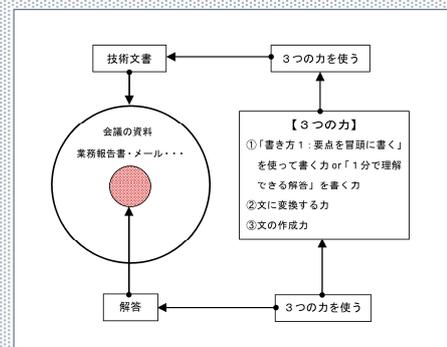
- ◆ インプットの受験勉強では“解答を書く力”鍛えることができない
- ◆ 受験勉強の目的が異なる
 - インプットの受験勉強とは、「解答として何を書くのか」に対応した内容
 - 受験部門と選択科目に関する技術や知識を頭の中にインプットするための勉強
- ◆ インプットの受験勉強では、理解・覚えるが主体

3

「日常業務の中」が重要なキーワード

- ◆ 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛えることがこの力を鍛えるうえで最も有効な方法
- ◆ “解答を書く力”とは、以下の3つの力の総合力
 - 「1分で理解できる解答」を書く力
 - 文に変換する力
 - 文の作成力
- ◆ 技術文書を書くときにもこの3つの力を使う
 - 例えば、業務報告書やメール

4



5

- ◆ 日常業務の中で3つの力を鍛えれば“解答を書く力”も鍛えることができる
- ◆ 技術文書を書くこと＝解答を書くこと
- ◆ 解答は技術文書の一つ
- ◆ 「日常業務の中」が重要なキーワード

6

■ 業務報告書を書く場合

1. 検討目的

本業務の検討目的は〇〇橋の改修設計である。〇〇橋は、国道△△号線を横断するRC床版橋である。現在の橋梁幅員は、国道△△号線の道路改良事業に伴う道路拡幅条件を満足していない。また、当該橋梁は、現状の設計基準に適合した構造ではない。そのため、構造上および安全上から当該橋梁の改修が必要である。

- アンダーラインの箇所: 内容の要点
- アンダーラインなし: 要点の説明
- 「書き方1: 要点を冒頭に書く」, 文に変換する力, 文の作成力を使って書く

7

■ 解答を書く場合

在宅勤務の問題を1つ述べよ

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

- アンダーラインの箇所: 解答の要点
- アンダーラインなし: 要点の説明
- 「1分で理解できる解答」を書く力, 文に変換する力, 文の作成力を使って書く

8

試験日までの一日を有効に使う

- ◆ 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える
と試験日までの一日が有効に使える
- ◆ 一日を以下の4つの時間帯に区分する
 - 日々生活するための時間(就寝・食事など)
 - 仕事の時間(基本的に平日)
 - 仕事に関連した時間(通勤時間や移動時間など: 平日)
 - 自宅などで受験勉強をする時間(帰宅後、会社の休日)

9

◆ 3つの区分と受験勉強との関係

- 仕事の時間 ⇒ アウトプットの受験勉強(インプットの受験勉強)
 - 仕事をする時間 = 受験勉強の時間
- 仕事に関連した時間 ⇒ インプットの受験勉強
- 自宅などで受験勉強をする時間 ⇒ インプットの受験勉強
- ◆ 「日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える」という考えがあるから
- ◆ 一日を有効に使うことができる

10

【参考資料】

- ◆ 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「『日常業務の中で受験勉強をする』という考え方」, 「記述式試験で重要な“2つの力”」

11

【参考】

- “技術文書を書く力(技術士に必要な力)”と“解答を書く力(受験生に必要な力)”を日常業務の中で同時に鍛えたい場合(大きな円とその中の赤い円)
 - 「マンガでわかる技術文書の書き方」を読む
 - 「自宅で学べる3ステップ・個人向け学習プログラム」を受講する(ジェイタプロのウェブサイト参照)

「内容が明確に伝わる技術文書の書き方」を解説



12

【最後に】

- ◆ 「2025年度・技術士二次試験対策」として8項目のテーマについて解説
- ◆ 試験に合格するうえでアウトプットの受験勉強は重要
- ◆ 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛えることが合格を後押しする
- ◆ “解答を書く力”を鍛えて2025年度の合格を目指す

13